

特集

新型コロナウイルス感染症に対する富士市議会の対応

議員一丸となって取り組んでいます!!

緊急要望書を提出

市民の皆様から議員に寄せられた新型コロナウイルス感染症に関する御意見や御要望をもとに、緊急要望書を作成し、市長と教育長に提出しました。

引き続き、市民の皆様の切実な声を耳を傾け、時機に応じた的確な要望を行ってまいります。



議会からの要望が反映されました

【産業・経済対策】

- ◆ 4月28日から5月6日までの休業に御協力いただいた飲食店を営む事業者に、新型コロナウイルス感染拡大防止協力金が給付されました。
- ◆ 大きな影響を受けた中小、個人事業者に対して、事業の継続を支援するための新型コロナウイルス対策事業持続化支援給付金が支給されます。(令和2年7月中旬から受付開始予定)

【教育対策】

- ◆ 市や各学校のウェブサイトには保護者用、子供用の心の健康チェックシートが掲載され、活用の呼びかけや相談の働きかけが行われています。
- ◆ 小中学校、幼稚園、保育園等の臨時休業に伴い影響を受ける保護者、給食事業者等に対して、昼食費や給食費等の支援のための各種補助金が交付されます。

【福祉対策】

- ◆ 収入が著しく減少し、生活への大きな影響が懸念されるひとり親家庭に、児童扶養手当受給者緊急支援給付金が給付されました。

【情報・相談対策】

- ◆ 新型コロナウイルス感染症に伴う生活支援や富士市特別定額給付金の申請方法などをまとめた情報チラシが配布されました。
- ◆ 産業支援機関等の協力のもと、事業者の事業継続を支援する新型コロナ対応事業者総合支援窓口がラ・ホール富士1階に開設されました。

・・・このほかの新型コロナウイルス感染症対策事業にも議会の要望が取り入れられました。

項目	政務活動費	議員報酬	合計
減額分	720万円	約510万円	約1230万円

※市長はじめ特別職の月額給与も減額されます。



政務活動費及び議員報酬を減額

新型コロナウイルス感染症により、市民生活への影響が深刻化している状況を重く受け止め、地域経済支援事業等の財源確保に資するため、令和2年度の政務活動費を50%削減するほか、7月から12月までの議員報酬の月額を5%削減することとしました。

6月臨時会で医療従事者等へエール

感染症対策の迅速な実施を後押しするため、6月5日に臨時会を開催し、4月以降に行った専決処分を承認するとともに、補正予算案を可決しました。開会直後には、医療従事者をはじめとした市民の皆様に向けた敬意と感謝さらには市民一丸となって困難を乗り越える思いを込めて、30秒間の拍手を送りました。



「緊急事態宣言」直後に提出・・・

4月21日 第1回 要望

1 産業・経済について

- 人の集まる施設の休業を要請するとともに、要請に応じた事業者には休業協力金を交付すること。
- 持続化給付金制度のわかりやすい周知に努めること。
- 融資、助成金・給付金受給、納税猶予等のための申請書類作成代行に要する補助金制度(10/10)を創設すること。

2 教育について

- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(仮称)を活用し、小中学校、保育所、幼稚園、認定こども園、認可保育所等の給食費を無料化すること。
- 小中学校へのタブレット導入の前倒しとリモート授業を開始すること。
- 小中学校、市立高校の児童生徒への「心の健康診断」を実施すること。
※アンケート(問診票)をもとに、リスクが高いと判断された児童生徒から優先的に面談等を実施するなど、早急に心のケアができる体制を整備する。

3 福祉・医療について

- 児童扶養手当に市独自の上乘せをすること。
- 富士市の地域医療を守るため、医師会と十分な意思疎通を図ること。

「緊急事態宣言」解除後に提出・・・

5月20日 第2回 要望

1 情報提供について

- 高齢者等、情報弱者の不安を払拭するため、まちづくりセンターに案内窓口を設け、全ての支援策が掲載された一覧表等を配布するなどし、周知を図ること。

2 産業について

- 市内のあらゆる企業の状況把握に努め、支援していくこと。

3 教育について

- 国の補助金を活用し、GIGAスクールサポーター、学習指導員の配置の推進を図ること。
- 教育の再開に向け、児童・生徒、保護者をフォローする人員の確保や放課後児童クラブ、学校給食関係者等との連携など、万全な体制を整えること。

4 医療について

- 市内の医療機関に対し、医療資材の供給等、十分な支援を行い、医療従事者の安全確保を図ること。

5 その他

- 避難所の在り方について、感染症拡大防止の観点を取り入れ、抜本的な見直しを図ること。
- 大規模な支出が想定される総合体育館建設事業や、緊急性を要しない事業などは次年度以降に先送りし、当面の歳出削減を図ること。